

令和 8 年度 助産師職能集会／助産師・保健師合同研修会



令和 8 年 6 月 27 日（土）山口県看護研修会館において、助産師職能集会および助産師・保健師合同研修会が開催されました。

助産師職能集会では、助産師職能委員長より、令和 8 年度日本看護協会通常総会と全国職能別交流集会報告及び、令和 7 年度活動報告・令和 8 年度事業計画についての報告が行われました。

助産師・保健師合同研修会では、『精神疾患を疑う妊産婦の支援～緊急性のアセスメントと精神科医療の連携～』について山口大学大学院 医学系研究科精神科神経科 助教 野田稔子氏にご講演頂きました。

講演後は、『妊産婦さんの支援の現状と関係機関との連携のあり方について』というテーマで、圏域ごとのグループに分かれ助産師・保健師の交流会が行われました。助産師、保健師のそれぞれの立場で研修内容を振り返り困り感を提示し、その困り感に対しお互いがどのような活動を行っているかグループワークを実施しました。



グループワークの感想として

「児が入院中で母子分離している場合の保健センターとの連携のあり方について確認出来てよかった」「妊産婦と関わる中で“ちょっと気になる”勘を大切にし次につなげる重要性を再確認しました」との意見がでました。

また野田先生からグループワーク後に、気になる患者に対し病院と地域がつながることの重要性と、緊急時は遠慮なく支援ガイドを活用し精神科医師へつなげて欲しいとの講評を頂きました。圏域ごとのグループワークでもあり有意義な研修となりました。

今後も皆様のご参加をお待ちしています。

山口県看護協会 助産師職能委員会



令和8年度山口県新人助産師研修



令和8年8月8日に新人助産師研修開講式と第1回研修を開催しました。

今年度の新人助産師は15名です。

新人助産師を対象とした研修を6回開催する予定です。この研修では、助産実践の基礎を形成していくために必要な専門的知識、技術の習得、所属施設を超えた助産師との交流を通し、助産師としてのモチベーションを高めることを目標にしています。



開講式後に第1回新人助産師研修・公開講座が開催され、木村献氏による「新生児のフィジカルアセスメント」、三木砂織氏による「新生児の看護」についてご講義頂きました。

【新生児のフィジカルアセスメント】



講師：木村献氏（山口大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター）

新生児の生理的適応を確認し、異常の早期発見に努め、適切な対応や報告につなげていくことの大切さを学びました。また、家族が気になる所見等についても学ぶことが出来ました。

新人助産師より「新生児に必要な観察項目について知ることが出来た。」「母乳育児のメリッ
トの根拠について学ぶことができたので、褥婦さんに伝えていきたい。」等の意見を頂きました。

【新生児の看護】

講師：三木砂織氏（山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師）

新生児看護に必要な新生児の知識 正常新生児、早産児の特徴についてご講義頂きました。

新生児に関心を払い、変化を見逃さない事、赤ちゃんの傍にいて見る事、触れる事、聴

く事の大切さを学びました。何かちょっと変だと思え

る観察力を身に付けていきたいと思います。ポジショ



ニングの方法について実践を通し学ぶことが出来ました。

新人助産師より「施設にある物品を活用し、新生児が安心できるポジショニングを行いた

い。」「新生児だけでなくご家族を中心としたケアを通し、地域に帰ってからの家族を支援し

ていく視点を持つことが大切。」等の意見を頂きました。



今後も公開講座へのご参加をお待ちしています。

助産師の活躍推進にむけて、自信をもって専門性を発揮する一助になれば幸いです。

山口県看護協会 助産師職能委員会

